



学校だより

ふうしゃ

平成29年7月18日
アムステルダム日本人学校
第12号
<http://www.jsa.nl/>

緊急メール登録ありがとうございます

校長 尾後貫 智

毎日爽やかな夏の日が続いています。保護者の皆様におかれましては益々ご清栄のこととご推察いたします。

さて、先週は保護者の皆様から緊急メールのご登録をしていただきました。お手数をおかけいたしましたこと、またご協力に感謝申し上げます。明日19日に緊急時を想定したテストメールを学校より送信させていただきますので、メールを受信しましたら、手順に従い返信していただきますようお願い申し上げます。

裏面に詳しく掲載させていただきましたが、パリの同時多発テロ発生の際には、翌日土曜日の朝8時に学校から全家庭へ一斉メールを送信して、全家庭より安否確認の返信が終了したのが2時間40分後の10時40分であったと聞いています。また長期休業中に起ったブラッセルの連続テロ事件の時は、朝9時に一斉メールを送信して全員の安否確認が終了したのが、午後5時頃（8時間後）だったそうです。後者の場合は、長期休業中であり、一時帰国や外出している家族が平日より多かったため、全員の安否確認に時間を要したと言われていますが、いずれもその日のうちに全児童生徒の安否が確認できていたことは、たいへん素晴らしいことだと思います。

この緊急メールは、保護者の皆様にご登録していただき、非常時に通常の電話による学級連絡網で連絡が浸透しにくいと予想される場合や、学校から同じ情報を一斉に全家庭に確実に伝えるための手段として活用するために、構築させていただいたものです。メールアドレスが変更になった際は、改めてご登録いただきますようお願いいたします。また転出される場合は、登録していただきましたメールアドレスは学校側で自動的に削除させていただきますので、予めご了承下さい。

7月以降、ラマダンと呼ばれる期間が過ぎて、世界各地で多発していたテロは現在一旦沈静化していますが、またいつ世界各地でテロが発生するか、また私たちの住んでいるアムステルダムがいつその標的になるかは、誰も予想し得ないことです。ただ私たちができることは、できる限りの備えをしておくことだと考えます。



「その時日本人学校は」

私がアムステルダム日本人学校に赴任して、すでに2年半になろうとしています。その間パリとブラッセルで大きなテロ事件がありました。保護者の皆様も記憶に残っていることと思います。では、その時パリ及びブラッセルの日本人学校ではどのように対

応したのか、幸いにも今のところアムステルダムではテロ事件は起きていませんが、保護者の皆様にも予備知識としてお知らせしておくことは必要だと思い、以下お伝えします。

【パリ同時多発テロにおける対応 平成27年11月13日（金）21時発生】

事件の概要 フランスのパリ市街と郊外において、ISILの戦闘員と見られる複数のグループによる銃撃および爆発が同時多発的に発生し、死者130名、負傷者300名以上の被害が出た事件

- 11月13日（金） 深夜 管理職が本日パリでテロ事件発生の事実を確認する
文科省へ緊急メール送信→文科省から翌日の児童生徒の安否確認の指示あり
- 11月14日（土） 7時 管理職、学部主任は出勤し、8時 児童生徒の安否確認のための一斉メールを送信
10時40分全児童生徒の無事を確認→校長が文科省、大使館、理事会に報告
15時40分今後の対応確認のため明日全職員集合を連絡
- 11月15日（日） 15時30分臨時職員打ち合わせ 理事会と連携して26日（月）27日（火）の2日間臨時休校とすることを決定し、一斉メールで保護者へ連絡
- 11月16日（月）・17日（火） 臨時休校実施
- 11月18日（水） 学校再開、18日以後3日間は職員が登下校のバスに添乗する

【ブラッセル連続テロ事件における対応 平成28年3月22日発生（学年末休業中）】

事件概要 ブリュッセル空港及び地下鉄マルベーク駅において発生した連続爆破テロ事件
3月22日（火）

- 8:47 第一報が理事長より学校へ入る
- 8:50 文部科学省から連絡あり
出勤している職員で情報収集、対策会議の実施
- 9:00 児童生徒の安否確認依頼の電話（連絡網）と同時に一斉メールの配信
- 9:45 大使館から連絡あり
※学年末休業だったため、一時帰国の児童生徒が多数
※文科省、大使館、理事会と状況を適時連絡
- 17:00 全児童生徒の安否確認終了

翌日以後の対応

- 4月4日 各家庭に一斉メール配信（5月10日までの学校の対応について）
- 4月11日 予定通り1学期始業式を行う
- 4月26日 保護者宛文書配布 5月11日以降の対応について連絡

上記の事例からも、一斉メールでの情報の配信は、緊急時に児童生徒の安否の確認、臨時休校のお知らせ、その後の学校再開のお知らせ等を発信するのに有効であったことがわかります。本校でもこのような場合に備えて、学校と家庭との間に複数のチャンネルを持つておくことが大切だと思います。このメールシステムを使用しないことがベストですが、緊急の場合を想定して、学期に一度くらいはテストメールの送受信をして確認しておきたいと思いますので、保護者の皆様のご理解、ご協力をお願いします。